



立 志 栗 中 だ よ り

学校だより
足立区立栗島中学校
校長 豊崎 努
令和7年1月14日
<http://www.adachi.ed.jp/adkuri>

一年の計

校長 豊崎 努

新しい年、令和7年を迎えました。本校は今年も生徒一人一人が生きがい、やりがいをもって生きていく力をもてるよう、生徒と教職員が一丸となって学校づくりを進めて参ります。保護者や地域の皆様にも引き続き学校と意思を共有していただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1月8日(水)の新年初めての登校日、体育館で全校集会を行いました。2期制の足立区では「始業式」ではありませんが、休みが明け、さらに新しい年を迎えたということでこの全校集会は一つの節目の時間になっています。

校長からの講話の中で、生徒たちに「今年はどうな年にしたいですか」「そのために今年やり遂げたいことややり通したいことは何ですか」「そのためにすでに始めたことはなんですか」と問いかけました。生徒一人一人の中にどのような答えがあったのかは分かりません。ただ「明日からやろう」といっていることは、多くの確率で、いつまでも「明日から」になるであろうことを実感するのは私だけではないと思います。

「一年の計は元旦にあり」については、昨年も一昨年も学校だよりに記したところですが、戦国時代の武将である毛利元就のものといわれるこの言葉は、「一年の計は春にあり、一月(ひとつき)の計は朔(ついたち)にあり、一日の計は鶏鳴(一番鶏が鳴く早朝)にあり」と続くのだそうです。

元旦早々「計」をたてた人は少ないのかもしれませんが、初詣などで「今年は・・・」とお願いしたり祈ったりしたのではないのでしょうか。

巳年(みどし・へびどし)は、へビが脱皮をくり返して成長することから、成長・変化の年、挑戦の年といわれます。また令和7年の乙巳(きのとみ)の年は、今までの努力や準備が実を結び始める年だともいわれているそうです。

とはいえ、受け身になっていて自分から行動を起こさなければ変化も成長も実感できないでしょう。努力や準備がなければ結ぶべき実があるはずありません。

一年の計を元旦にたてられなかったとしても、一日の計をたてるべき鶏鳴(朝)は毎日やってきます。一月(ひとつき)の計をたてる朔(ついたち)は毎月やってきます。是非チャンスを見つけて自分の「計(計画、設計、願い、希望、予想図etc.)」を自分で定め、充実した年を自分の力で切り拓いてください。

●○2月の主な行事予定●○ (詳しくは2月行事予定をご覧ください。)

3日(月) 全校朝礼、1・2年・5組教育相談週間	4日(火) 1・2年教育相談週間
5日(水) 5組バスケットボール大会	6日(木) 1・2年・5組教育相談週間
7日(金) 漢字検定、5組教育相談週間	10日(月) 食育朝礼、1・2年ESAT-J
11日(火) 建国記念の日	13日(木) 専門委員会
14日(金) 理科コンテスト、新入生保護者説明会	17日(月) 生徒会朝礼
19日(水) 職員会議	20日(木) 避難訓練
21日(金) 3年都立高校一般入試	24日(月) 振替休日
25日(火) 到達度確認テスト	26日(水) 到達度確認テスト
27日(木) 1・2年到達度確認テスト、5組お別れ遠足	

12月5日(木)給食試食会

今年度の給食試食会は10名の保護者の方にご参加いただき、開催することができました。年に数回しかない貴重な手作りパン、ポークビーンズ、インドカレー屋のドレッシングサラダを、栄養教諭と意見交換をしながらいただきました。

あだち食のスタンダード

- 実践力1 1日3食野菜を食べる等望ましい食習慣を身につける
- 実践力2 栄養バランスのよい食事を選択できる
- 実践力3 簡単な料理を作ることができる



足立区の給食は、ただ“おいしい”だけではありません。給食を“生きた食材”として、生産者や調理に関わる人々への感謝の気持ちや、食に関する学びを大切にしているのが足立区の「おいしい給食」です。その結果、小・中学校の総残菜量が年々減っています。また、子どもの時期から簡単でもバランスのとれた食生活を可能とする“3つの実践力”を「あだち食のスタンダード」と名付け、就学前から中学校卒業まで段階に合わせた食育を推進し、子ども達の望ましい食生活の定着に取り組んでいます。今後も栗島中学校では、学校と家庭が連携した食育を目指していきたいと思っています。

12月5日(木)5組足立区立中学校連合球技大会～ビーチボール・バレーボール～



今年度はコロナ禍以来、久しぶりに足立区の中学校特別支援学級10校が一堂に会して、終日の開催となりました。体育の授業でチームごとに、サーブやトス、レシーブ練習を繰り返し行ってきました。はじめは苦戦しましたが、チームで声をかけ合い、できることが増えていきました。また競技だけでなく、集合練習や解散練習も行い、公共交通

機関を利用し、目的地まで一人で行けるように訓練もしました。様々な準備をして迎えた本番、もちろん緊張している様子も見られましたが、チームで励まし合い、練習の成果を存分に発揮しました。何より他校の生徒と同じ時間を共有し、楽しむことができました。スポーツを通して、さらに友情を育むことができ素敵な一日となりました。



12月7日(土)薬物乱用防止教室

年に1回の薬物乱用防止教室、今年度は警視庁生活安全部少年育成課 杉山慶洋様と竹下若那様を講師に招いて開催しました。

様々な犯罪や誘惑が中学生の身近でも増えていることを改めて知り、怖さを感じました。自分の身は自分で守らなければいけない、そのためにははっきりと断る勇気が何よりも必要であるという、講師の方の熱い言葉が心に響きました。そして、トラブルに巻き込まれないようにするには、危険が予測されるような場所には軽々しく行ってはいけないことを再度確認できました。

安心・安全に生活するために、社会にはルールが存在します。学校にも同じことが言えます。ルールを守ってこそ、社会生活や学校生活はより充実したものになることを心に留めておきましょう。

12月25日(水)全校集会

2024年最後の登校日となりました。前日は大掃除でワックスがけを行ったため、廊下に出した机や椅子、ロッカー等を協力して教室に運び入れるところから始まりました。

足立区は二期制のため、終業式ではなく全校集会。この節目を有効に活用して、1年生は2年生になる準備を、2年生は3年生になる準備を、3年生は高校生になる準備をしようという話をしました。3年生は真剣に自分の進路に向かう時が来ました。人生において、必死で頑張らなければいけない時は何度もあるものではありません。そのわずかな機会を、自分を伸ばすチャンスと捉え、自分に活を入れ頑張してほしいものです。



